

## 平成三十一年度 埼玉県公立高校入試問題 解説

※入試問題については、テレビ埼玉の番組ホームページでご確認ください。

それでは国語の授業を始めます。まずは本文全体をご覧ください。ざっと眺めて頂くだけでも「長いなあ」と思われる方が多いのではないのでしょうか？ 文字数を数えてみますと全部で二七九一字、四〇〇字詰め原稿用紙に換算しますと約七枚分に相当します。

しかし、実は文章には意識して頭の中に入れなければならない部分とそうでない部分があり、今回の文章で言いますと、皆さんが意識して頭の中に入れなければならない部分は文字数でいうと全部で五四六字、四〇〇字詰め原稿用紙に換算しますと約一枚とちよつと分まで減らすことが可能です。

では、いったいどうすれば意識して頭の中に入れなければならない部分が見つかるのか？ それには二つ、ポイントがあります。

一つ目は「一文の要点、文の中で「誰が・何が」にあたる「主語」と「どうする・どんなだ」にあたる「述語」を見抜くように心掛けてください。見抜くときは、普通、述語は文末にあることが多いので、倒置法や述語が長いなど特別な場合を除き、まずは述語を探してからそれにあう主語を探すように心掛けてください。

では、一つ例題をやってみたいと思います。左記の問題を考えてみてください。

★入試必勝ポイント①  
一文の要点(主語・述語)  
を見抜く!

### 【例題1】

次の一文の中で、なくてはならない言葉を一つ答えなさい。

国語力はとても重要です。

どうでしょうか？ 正解は「答えられない」となります。なぜなら、左記のように、なくてはならない言葉は一つではなく二つだからです。例えば、「国語力はとても」だと「国語力が何なのか？」が分かりませんし、「とても重要です」だと「何が重要なのか？」が分からないからです。

★入試必勝ポイント①

一文の要点(主語・述語)を見抜く!

【例題1】

次の一文の中で、なくてはならない言葉を~~X~~に答えなさい。  
二つ

○国語力はとても重要です。

X 国語力はとても

X とても重要です。

そこで皆さんに質問です。「国語力はとても重要です。」の中で「述語」は何だと思えますか？ そうですね、「重要です」となります。

では、「何が」重要なんでしょうか？ そうですね、「国語力は」重要なんですね。

そこで、「国語力はとても重要です。」という一文の中でなくてはならない言葉は「とても」という修飾語を除いた「国語力は」という「主語」と「重要です」という「述語」であることが分かります。

では、次の例題に移りたいと思います。左記を読んで、「主語」と「述語」を探してみてください。まずは「述語」から探してみましよう。

★入試必勝ポイント①

一文の要点(主語・述語)

を見抜く!

【例題2】

次の一文の**主語**と**述語**を  
答えなさい。

国語を勉強することは、  
語彙力や論理的思考能力、  
プレゼンテーション能力の向  
上に役立つのでとても大切  
である。

「述語」は何だと思えますか。そうですね、「述語」は文末の「ある」となります。では、何が「ある」のでしょうか？ちょっと難しかったです。が、「主語」は「ことは」となります。

では、次にいききたいと思います……と言いたいところですが、「ことば」「ある」「？」何を意味するのか分かりますか？ ちょっと難しいですよね？ そこで、今回のように「**文節では意味がいまいち分かりにくい場合は意味のまとまりとしての「主語」と「述語」を見抜くように心掛けてください。**

では、今回の一文の意味のまとまりとしての「述語」は何だと思えますか？ そうですね、左記の下端のように「大切である」となります。

では、「大切である」のは何だと思えますか？ そうですね、「国語を勉強すること」が意味のまとまりとしての「主語」となります。

このように、「**一文節では意味がいまいち分かりにくい場合は意味のまとまりとしての「主語」と「述語」を見抜くように心掛けてください。**



★入試必勝ポイント①  
一文の要点(主語・述語)  
を見抜く!

【例題2】  
次の一文の**主語**と**述語**を  
答えなさい。

**国語を勉強すること**は、

語彙力や論理的思考能力、  
プレゼンテーション能力の向  
上に役立つのでとても大切  
である。

実は、このやり方は「古文」にも応用できます。左記の上部をご覧ください。

一文ずつ確認していきたいと思います。「今は昔、竹取の翁といふものありけり。」この一文の中の「述語」は何だと思えますか？ そうですね、「ありけり（いた）」となります。では、誰が「いた」のでしょうか？ そうですね、「竹取の翁」となります。二文目にいってみましょう。「野山にまじりて（野や山に分け入って）竹をとりつつ、よろづのことに使いけり（色々なことに使っていた）」とありますが、では、この一文の中の「述語」は何だと思えますか？ ちょっと難しくかったです「まじりて」「とりつつ」「使いけり」となります。では、野や山に分け入ったり、そこで竹をとったり、とった竹を使った人は誰でしょうか？ そうですね、全て「竹取の翁」となります。

このように「古文」では「主語」が省略されて書かれていることが多いので、「主語」を補いながら読むように心掛けてください。

★入試必勝ポイント①  
一文の要点(主語・述語)を見抜く!

【例題3】  
次の文の王語と述語を答えなさい。

今は昔、竹取の翁といふ

ものありけり。野山にま

じりて竹をとりつつ、よろ

づの「と」に使ひけり。

★入試必勝ポイント①  
一文の要点(主語・述語)を見抜く!

【例題3】  
次の文の王語と述語を答えなさい。

今は昔、竹取の翁といふ

ものありけり。野山にま

じりて竹をとりつつ、よろ

づの「と」に使ひけり。

竹取の翁

竹取の翁

竹取の翁

ここから二つ目のポイントに移りたいと思います。

二つ目のポイントは「言い換え」と「対比」を意識しながら文章を読むように心掛けてください。たとえば、左記の上半段をご覧ください。私が「国語は大事!」というのを皆さんに主張したいとしましょう。ところが、皆さんの中には「何で国語が大事なんだろう?」と思われる方もいらっしゃるかと思われまふ。そこで、私は自分の意見に説得力を持たせるために様々な工夫を凝らします。たとえば、左記の下半段のように国語を勉強すると語彙力が身についたり、作文力が身についたり、プレゼンテーション力が身についたりといったように、「国語は大事!」ということを「具体例」を挙げながら別のこ  
 とばで「言い換え」たり、他の物事と比べながら自分の主張を強調するという手法をよく使います。裏を返せば、「具体例」や「対比」されている物事は、あくまでも「国語は大事!」という自分の主張に説得力を持たせるために挙げているに過ぎないので、文章を読むときは取り除いてしまい、「筆者の主張」の部分だけを頭に入れることで皆さんの思考がクリアになるとも言えます。

★入試必勝ポイント②  
 言い換え・対比  
 を見抜く!

国語は大事!



★入試必勝ポイント②  
 言い換え・対比  
 を見抜く!

国語は大事!



言い換え

対比

語彙力  
 作文力  
 プレゼン力

TVゲーム  
 社会



それでは、一つ例題をやってみたいと思います。

平成三十一年度埼玉県公立高校入試の大問3の論説文の第一段落をご覧ください。

先程お伝えしたように「一文の要点(主語・述語)を見抜」きながら、さらに、「言い

換え・対比」も意識しながら本文を確認していきたいと思います。

一文目ですが、「述語」は何だと思えますか？ そうですね、文末の「ある」となります。では、何が「ある」んでしょうか？ そうですね、「マナーが」あるんですね。

次に二文目ですが、ディテールは(注)にもありますように「詳細。細部」、つまり「細かい部分」という意味となります。また、「多様」は「様々」という意味となります。では、二文目の「述語」は何だと思えますか？ ちょっと難しくかったです。「多様であり」「対立することも多い」となります。では、何が「多様であり」「対立することも多い」のでしょうか？ そうですね、直前の「そのディテールは」となります。ちなみに、「その」という指示語は最初の「(食事の)マナー」のことを指しています。

最後に三文目にいききたいと思いますが、この文はあくまでも二文目の「具体例」、つまり「言い換え」に過ぎないので、頭の中から取り除いてしましましょう。

以上のことから、**第1段落の要点は「(食事の)マナーのディテール(細かい部分)は多様であり、対立することも多い」となります。**

では、以上二つのポイントを使って、実際の問題を解いてみたいと思います。

問2 ②正しいマナーを教えようとするひとは、マナーを知らないひとや、マナーを修正しようとしなひひとにもまして避けるべきである。とありますが、これは、筆者がマナーをどのようなものだと考えているからですか。次の空欄にあてはまる内容を、三十五字以上、四十五字以内で書きなさい。(6点)

マナーにおいて大切なことは、  
たマナーは存在しない、と筆者は考えているから。  
ことであり、決まりきつ

まずは、設問の確認からしていきたいと思います。右記は大問3の問2の設問文となります。

確認してみますと、問2で問われているのは「筆者がマナーをどのようなものだと考えているからですか」とあり、また、空欄の直前に「マナーにおいて大切なことは」とありますので、皆さんは本文中から筆者が「マナー」について「大切」だと思つているところは何か書かれているところを探せば良い、というのが分かると思います。また、「三十五字以上、四十五字以内」という字数制限にも注意してください。

そこで、解答の根拠を探してみますと第八段落に該当する記述がありましたので、確認していききたいと思つています。

第八段落をご覧ください。

一文目に「マナーは……ではない……でもない」とありますが、この一文は筆者が考える「マナー」とは対比される形で書かれている「具体例」に過ぎないので、皆さんは頭の中から取り除いてしましましょう。

次に、二文目ですが、この一文は「述語」が長いので、「主語」から探してみたいと思つています。「主語」は何だと思つていますか？ そうですね、「マナーとは」となります。では、「マナーとは」何だと言つていますか？ ちょっとと長かったです、「マナーとは」「その場で相手のやり方にあわせようとする事」であり「文化が異なれば相手のマナーも異なることを互いに前提して伝えあおうとするコミュニケーションのこと」であり、「前提」という語句もあるので、この部分が筆者が「マナー」について「大切」だと思つているところだと分かります。

そこで、この部分を使って解答を作成してみますと、まず、「マナーとは」という部分が「マナーにおいて」と部分と重複しますので削除します。また、四十五字以内という制限字数内に収めるために、「伝える」と「コミュニケーション」という重複表現の「コミュニケーション」のほうを削除し、体裁を整えてみると解答は「その場で相手のやり方にあわせ、文化が異なれば相手のマナーも異なることを互いに前提して伝える(四十五字)」となります。

次に「古文」に移りたいと思います。まずは、設問の確認からしていきたいと思えます。平成三十一年度埼玉県公立高校入試の大問4の問3をご覧ください。

問3 ③ かかる御尋ね は「このようなお尋ね」という意味ですが、ここではどのようなことを尋ねたのですか。次の空欄にあてはまる内容を、十五字以内で書きなさい。  
(3点)

と「こう」と。

確認してみますと、「このような」という指示語があるので、**解答は傍線部③よりも前**にあることが推測できます。また、「どのようなことを尋ねたのですか」とありますので、「**尋ねた**」内容について**傍線部③よりも前から探せばよい**、ということが分かります。また、「**十五字以内**」という**字数制限**にも注意しましょう。

では、本文を確認していききたいと思います。

「古文」も「論説文」同様に「一文の要点(主語・述語)を見抜」きながら、**「言い換え・対比」も意識しながら本文を確認していききたいと思います。**

本文の三文目、「召して(お呼びになつて)」という「述語」がありますが、「召し」たのは「後京極摂政」でしょうか? 「宮内卿」でしょうか? これは「後京極摂政」が「宮内卿」を「召し」たので「**召して**」の「**主語**」は「**後京極摂政**」となります。

次に「御尋ねありける(お尋ねがあった)」という「述語」がありますが、尋ねたのは誰でしょうか? そうですね、これは「後京極摂政」が「宮内卿」を「召して(お呼びになつて)」尋ねたわけですから、「**御尋ねありける**」の「**主語**」は「**後京極摂政**」となります。

次に、「申して(申し上げて)」という「述語」がありますが、申し上げたのは誰でしょうか? そうですね、これは「後京極摂政」が尋ねたことに対して「**申し**」たわけですので、「**申して**」の「**主語**」は「**宮内卿**」となります。

次に、「思うやうありける(何かを思う様子であったところ)」という「述語」がありますが、この「主語」は誰でしょうか? そうですね、直前に「いづれも分きがたく(どの人を選んだらよいのか難しい)」と「宮内卿」が悩んでいるので、「**思うやうありける**」の「**主語**」は「**宮内卿**」となります。

そこで、傍線部③ですが、先程、問3の設問の部分で確認したように「かかる御尋ね」は「このようなお尋ね」という意味であり、「この」という指示語がありますので、傍線部③よりも前の部分から尋ねた内容を探してみますと、「御尋ね」という「言い換え」が見つかりますので、問3の解答はその直前の会話文の箇所を十五字以内でまとめればよいということが分かります。

また、直前を見ますと「心に思はむやう（心に思っていることを）」ありのままにのたまへ（ありのままにおっしゃってください）」とあり、問3で答えなければならぬのは心に思っている内容、つまり、「この世に歌詠みに多く聞ゆるなかに、いづれか勝れたる」の箇所だということが分かります。

そこで、「この世に歌詠みに多く聞ゆるなかに、いづれか勝れたる」の箇所を現代語に直してみますと

問3 ③ かかる御尋ね は「このよう  
なお尋ね」という意味ですが、こ  
こではどのようなことを尋ねたの  
ですか。次の空欄にあてはまる内  
容を、十五字以内で書きなさい。  
(3点)

この世に歌詠みに多く聞  
この世には評判の高い歌詠みが多く  
ゆるなかに、いづれか勝れたる。  
いると聞くが、誰が優れているか。

よきういふ。

となり、解答は「歌詠みの中で優れているのは誰か（十五字）」となります。

最後に本日のポイントをおさらいしましょう。

## ★入試必勝ポイント

### 【論説文・古文のポイント】

- ① 一文の要点（主語・述語）を見抜く！
- ② 言い換え・対比を見抜く！

まず一つ目は「一文の要点（主語・述語）を見抜く！」ように心掛けてください。次に二つ目は「言い換え・対比を見抜く！」ように心掛けてください。

サイエイのホームページのほうに類題も掲載させて頂きましたので、そちらも併せてご利用ください。

では、本日の授業はこれで終わりとなります。皆さん、頑張ってください！